

## 参考資料1 わが国の競争的研究資金の現状

わが国の競争的研究資金は、表1のとおりである。競争的研究資金への登録はかつてから見ると大幅に減少しており、文部科学省関係を除けば、各省庁に1~2となっている。

環境省においても、CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業が競争的研究資金からはずれており、現在では、環境研究総合推進費が環境省唯一の競争的研究資金となっている。

本省以外で運営されている競争的研究資金としては、以下のものがあり、基礎的研究や若手の研究を支援するものである。

○独立行政法人学術振興会：科学研究費補助金（科研費）、

○独立行政法人科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業（CREST、さきがけ、ERATO等）  
研究成果展開事業

国際科学技術共同研究推進事業

○独立行政法人医薬基盤研究所：先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業

○独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構：先導的産業技術創出事業（若手支援）

一方、独立行政法人情報通信研究機構が運営していた「高齢者・チャレンジド向け通信・放送サービス充実研究開発助成金」は平成23年度で終了し、平成24年度事業からは、「デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発」として総務省本省で実施されている。

また、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の生物系特定産業技術研究支援センターが運営していた「イノベーション創出基礎的研究推進事業」は、「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」に統合され、農林水産省の農林水産技術会議で運営されている。同研究機構では平成26年度から「革新的技術創造促進事業」を運営しているが、これは定額補助制度であり競争的研究資金とはなっていない。

科学研究費補助金が最大の競争的研究資金であるが、他の競争的研究資金は科研費との差別化が大きな課題となっている。

独立行政法人科学技術振興機構（JST）も例外ではない。JSTの見直しを審議する平成23年7月の科学技術振興機構部会（第37回）の議事録を読むと、北澤理事長は、JSTはトップダウンで、課題解決型あるいは課題達成型のテーマにするということで、科研費とは完全に色分けしていると述べている。また、委員からのJSTはファンディング・エージェンシーかとの質問に対して、文部科学省は、JSTの場合は委託という方式で実施しており、自ら研究をするという性格が強いと考えており、そこに重きを置いて、自らイノベーションを創出するんだというところを強調していると述べている。JSTの主要プログラムであるCRESTなどの研究プログラムのテーマは文部科学省が決定し、JSTはそのテーマを推進するのに適切な総括研究者を選定し、その総括研究者のもとで研究テーマの内容を決め、研究を公募して委託により実施してもらうという形をとっている。なお、JSTは、文部科学省の各種事業の公募、審査、管理、契約事務補助などの事業を受託している。

環境研究総合推進費も、科研費との差別化を図る観点から、研究課題の設定等における行政の関与を維持・強化していくことが重要である。

## 競争的資金制度(平成26年度予算額)

平成27年3月

府省名	担当機関	制度名	H26年度 予算額 (百万円)
内閣府	食品安全委員会	食品健康影響評価技術研究	194
	小 計		194
総務省	本省	戦略的情報通信研究開発推進事業	2,548
		ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	500
		デジタル・デバイド解消に向けた技術等研究開発	47
	消防庁	消防防災科学技術研究推進制度	153
	小 計		3,248
文部科学省	本省/科学技術振興機構	国家課題対応型研究開発推進事業	28,755
	日本学術振興会	科学研究費助成事業(科研費)	227,616
	科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業	61,241
		研究成果展開事業	27,079
		国際科学技術共同研究推進事業	3,319
小 計		348,010	
厚生労働省	本省	厚生労働科学研究	43,794
	医薬基盤研究所	オーファンドラッグ・オーファンデバイス研究開発振興事業(先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業)*	2,847
	小 計		46,641
農林水産省	本省	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	5,217
	小 計		5,217
経済産業省	本省	ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業	6,334
	新エネルギー・産業技術総合開発機構	先導的産業技術創出事業	638
	小 計		6,972
国土交通省	本省	建設技術研究開発助成制度	257
		交通運輸技術開発推進制度	159
	小 計		416
環境省	本省	環境研究総合推進費	5,510
	小 計		5,510
合 計			416,208

※予算額はオーファンドラッグ・オーファンデバイス研究開発振興事業のうち、旧保健医療分野における基礎研究推進事業の継続分。

※四捨五入の関係で、小計、合計額が一致しないことがある。